



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩倉市の地域特性と公共交通の現状把握について（資料４－２）</li> <li>・岩倉市地域公共交通アンケート調査票（案）（資料４－３）</li> <li>・名鉄バス路線図</li> <li>・エコモビ推進表彰候補団体を募集します（案内チラシ）</li> </ul>
公開・非公開の別	■公開    □非公開
傍聴者数	２名
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）	
1	開会
2	<p>会長職務代理者の選出</p> <p>昨年度会長職務代理者浅田委員の退任により、関戸委員を指名</p>
3	<p>報告事項</p> <p>（１）岩倉市デマンド型乗合タクシーの実績報告について</p> <p>資料３について、小崎統括主査から説明</p> <p>磯部会長：導入当初と比べるとかなり利用者数が減ってきた。昨年度は明らかに減っている。このままこの事業を継続してよいか、考えなければならぬ数字になってきたのではないか。</p> <p>平井委員代理：岩倉市デマンド型乗合タクシーの登録対象となる人数を教えてください。登録者は1,897人。登録者を増やさないと利用者数は増えないのではないかと。</p> <p>事務局：資料４-2で示しているが、65歳以上の高齢者は約11,300人程度である。</p> <p>平井委員代理：対象者に対して登録者は15%ぐらいだとすると、多いのか、少ないのか。周知方法などはどうしているか。</p> <p>事務局：広報への掲載と、公的施設で案内を行っている。民生委員による赤ちゃん訪問の際の紹介や妊婦への説明も行っている。</p> <p>平井委員代理：65歳以上の方への周知はどうか。</p> <p>河村委員：民生委員が65歳以上の一人暮らしの方には個別訪問した際に紹介している。車の所有がない方であれば医療機関の通院の手段としても紹介する。</p> <p>太田委員：予約不成立とは何か。バスは整備等で1台の運行になる場合もあるのか。</p> <p>事務局：予約不成立とは予約の希望時間が重複して成立しなかったことをいう。車検等で運行できない場合は代替車で運行するので常に2台で運行できる。</p> <p>榊原委員：予約は乗車希望時間の何分前まで受付けているのか。</p> <p>事務局：30分前までに予約することとしている。</p> <p>榊原委員：平均乗車人数が1人代で予約不成立があるのはなぜか。対応次第で予約を成立させることが可能なのではないかと。</p>

事務局：乗り合いを促すこともあるが、実際には予約していただけない。

松浦委員：1週間前からの予約が可能なので、早くから予約されていて、直前の予約を断らざるを得ない状況がある。改善しなければならないと思う。乗合についてはシステムを利用して経路検索をしているが、現状の設定では乗合ルート調整が付きにくい。午前中は病院への利用が多く2台のバスでは足りない。午後は利用がない。予約が取れないことが続いて予約することを諦めてしまった方もいるのが現状ではないかと思う。

磯部会長：予約不成立は本当に成立させる方法がないのか。時間を分散してもらったり、少し到着時間は遅くなくても乗り合ってもらおうという方法もある。一人だけで利用するものではないという周知が必要かもしれない。早いもの勝ちにならないよう知恵を出す必要がある。

松浦委員：乗合経路はシステムで検索しているが、システムを提供している会社からはゆとり時間（予約時間から目的地到着時間までのうちの遊び時間）の設定を変更するという話も聞いている。

榊原委員：民間のタクシーで乗合事業の実験をしたという話を聞いたことがある。こうした取組も参考になるのではないかと思う。

小林委員：都市部のタクシー実験はスマホを使った取組が多い。高齢者の利用が多い岩倉市のデマンド型乗合タクシーでの活用は難しいと思う。予約については他の地域では前日までに予約が必要なケースが多い中で、岩倉市のシステムはサービス性が高い。ジャンボタクシーを使った事業なので乗合率を高めるべきだと思う。

市長：岩倉市は面積が小さいため、ほとんどの目的地へ10分程度で行けてしまう。無理に乗り合うよりもピストン輸送の方が効率のいい面もある。小牧市は小牧市民病院を中心にバス路線が形成されている。岩倉市でも目的地として集中している場所があれば乗り合いも誘導しやすいが、岩倉病院への利用が多いもののその他は分散しているため乗合運行も難しい。また、予約が面倒だという声もある。

磯部会長：本日は問題点を確認させていただくとともに、問題意識を共有させていただいた。基礎データを確認し、利用者の声を聞いて対応していくことが大切。

(2) 地域公共交通調査・検討業務について  
資料4-1について、小出統括主査から説明

※質問等は特になし

資料4-2、4-3について三菱UFJリサーチ&コンサルティング筒井氏から説明

小林委員：市民全体へのアンケートは実施するが、利用者へのアンケートは実施しないのか。

事務局：全体アンケートの中で利用者も含まれると考えている。また平成 28 年度にも利用者アンケートを実施しているのでその結果を活用する。

小林委員：アンケート回収率の想定が 50%となっているが、前回調査の回収率はどうか。

事務局：前回のアンケート調査の回収率は 53%であった。

磯部会長：アンケートの実施でどこまでの確認ができるかはまだ分からないが、アンケート調査を実施して次回の公共交通会議の内容を検討してもらいたい。その他の意見はないようなので全体をとおして市長から意見をお願いしたい。

市長：岩倉市は小さい面積の中で、南北方向に鉄道駅が 3 つある。東西方向には路線バスがある。空白地域はほんの一部しかない。どのように空白地域を埋めていくかが課題となる。岩倉市は、坂が無いので移動がしやすい場所であるが、時代の変化があり昔は病院送迎を行うボランティア団体があったが今はない。障害者で車いすを利用する方だと、近くに鉄道駅があっても利用が困難な場合もある。外出支援としての公共交通の役割は大きい。デマンド型乗合タクシーについては、当初の目標が達成できていない。どうすべきかこれから検討に入る。アンケート調査や意見交換会を実施させていただいて、市民の意見について、適切な料金、サービス内容を考えたい。正面から向き合い、前向きに考えていきたい。そのためのご意見を引き続きお願いしたい。

### 3 その他

事務局：アンケート調査について 7 月に実施する。修正等ご意見があれば 2 週間以内に事務局にお願いしたい。それら意見をふまえ対応して発送したい。

上記のとおり、岩倉市地域公共交通会議の経過及びその結果を明確にするために、この会議録を作成し、ここに署名します。

平成 30 年 7 月 18 日

岩倉市地域公共交通会議

会長

磯部 友孝

